

ASAPカンボジア通信

Asia School Attendance Partnership

NPO法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会



ドッジボール優勝を喜ぶトロク小学校

2017.10

- 第28回視察訪問のご報告
長谷川 理事長…P1
- トロピアンプレイ高等学校開校へ…P2
- 支援校の様子…P3～6
- Mother to Mother 活動報告…P7～8
- その他の活動報告…P9～10
- 平成29年度通常総会のご報告…P11～14

Vol.20

第28回視察訪問のご報告

理事長 長谷川 安年

去る8月2日から7日にかけて第28回支援ツアーを実施致しました。(副理事長大沼およびスタッフ上田が一週間先発して活動致しました)参加者はASAP副理事細谷、活動支援幼稚園調布白菊幼稚園吉田理事長先生、啓明学園高校生10名と引率2名及びそのOB生2名を含む総勢23名での訪問となりました。

今回の大きな目的は、地区待望の高等学校寄贈式典への参列でした。10年前に私が小学校校舎を寄贈して始まったカンボジア教育支援活動が、高校開校までにつながったことは感無量でございます。

式典はシアン・ブレマン内務大臣の出席を頂き盛大に行われ、11月の新学期開校を待つばかりとなりました。

ここまで活動を推し進めてきたものは、地域の方々の猛烈な「学校がほしい」という熱意にほかなりません。特に地域の学校をまとめておられるヴィラ校長先生の功労は大変大きなものでした。健康を害しながらも、地域の教育の為に精を尽くす姿に、「人」が国を立て直していく事を痛感させられました。

私も90才となり、この先出来ることも限られておりますが、中学・高校に運動ができるグラウンドを整えたい、教室不足の小学校に校舎を建ててあげたいと、思いは尽きることがありません。皆様のお力をお借りしながら出来る限り進んで参ります。

今後共 ASAP をよろしくお願い致します。



入学を楽しみにする中学3年生たちと新校舎前での記念写真

トロピアンプレイ高等学校開校へ！

初めて貧困地区コールタメイ村を訪問した時、子どもたちは民家の軒下で勉強していました。「この子たちに学校を」という思いから小学校を寄贈し開校したのが 2012 年。その後 2014 年卒業生が進学するトロピアンプレイ中学校を開校。そして 3 年後の今年、卒業生が進学する高校をとうとう開校することができました。

ポルポト政権下に行われた知識人の皆殺しの影響で、今でも国全体で教育を受けた「大人」が極端に少ないカンボジアにおいて、高等教育を受けた国民の育成は必須課題です。小学校さえなかったカンボジアの貧困地区に小学校から高校までの道筋を引けたことは ASAP としてこの上ない喜びであります。

ご支援下さった皆様、特に中学校、及び高校建築時不足資金を助成して下さった株式会社ラッシュジャパン様には心よりお礼を申し上げます。

この高校には周辺 8 小学校・3 中学校の生徒が通う事になります。高校が遠方だったため中退してしまった子どもたちが復学してくるという嬉しいニュースも届きました。

驚くことに 11 月からの新学期の入学者数は 120 名にもなります。5 教室しかない校舎の今後の不安ではありますが、見守っていこうと思います。



落成式の様子



完成した校舎



9月に入って国から机が届きました



風通しの良い窓と床の白いタイル張りの教室

支援校の様子

タットム小学校・トロク小学校

学校運営が非常に順調に行われるようになったこの両校については、ASAPからのお給料補助は今年の1月で終了しました。終了してから初めての訪問でしたが、以前と変わらずの温かい出迎えにホッとしました。

10年前、たった30ドルだった国からのお給料が段階的に上がり、現在235ドルまでになりました。また、町にATMが誕生したことで、毎月確実に支払われるようにもなったそうです。やっと「先生」という職が安定してきた様子がうかがえます。

支援の差が歴然と！！

トロク小、タットム小とほぼ同時期に建った小学校を視察しました。

ある大きな団体が寄贈した校舎ですが、寄贈後一度も訪問はないという事でした。

継続して支援してきたASAPの学校との差が歴然としていました。百聞は一見にしかず。どうぞ見比べてください！

視察した学校



グチャグチャの職員室



ドアが外れて荒れ放題のトイレ

ASAPの支援校



トロク小学校の職員室



入り口に花が植えられ綺麗なタットム小のトイレ

毎年恒例のドッジボール大会での出来事

毎年恒例となった『ドッジボール両校対抗試合』を、今年もトロク小学校で開きました。優勝はトロク小学校。去年の雪辱を果たしました。その後、トロクの校長先生がボソッと

「いつもトロクばかりでなくて、
たまにはタットムでもやってほしい…」

いつも校庭の広いトロク小学校で行っているから
少し不満があるのか…と思ったのですが理由を聞いてホロリ…。

「**タットムで開けば、トロクの子どもたちもバスに乗れるから**」

毎年トロクにタットムの子どもたちが（私たちの乗ってきた）バスでやってくるので、**バスに乗った事のないトロクの子ども達もバスに載せてあげたい校長の親心！**

「不満でもあるのか…」と勘ぐった自分の心の汚…校長先生ごめんなさいね。
支援校の子どもたちみんなをいつかバスにのせてあげたいです！

優しいトロクの校長先生



思えばトロク小やタットム小も支援を始めた時は、この学校同様に職員室は乱雑、トイレもかなり汚なくて利用したくなかったものです。継続して声をかけ続けた成果を実感できたことは今後の活動に大いに励みになります。



せっかく寄贈のトイレはこの状態



清潔なタットム小のトイレ



コンクリは剥がれてゴミだらけ



花壇や畑等整備された校庭

コールタメイ小学校

ASAP の建てた学校なので、カンボジアでは珍しく「校庭」があります。木陰にはタイヤ遊具もあります。校庭で遊ぶ子どもたちは裸足で服もボロボロではありますが、皆笑顔いっぱい。学校が楽しくてやめる子どもはいないそうです。

ASAP の支援金で、新しく学校給食（朝子どもたちに栄養の為に配られます）を作るための『台所』が造られていました。隣家を借りずに学校で作れるようになって、また一歩前進です。



ドラゴンフルーツ畑から...

「学校の収入や子どもたちの栄養補給を考えて」と植えたドラゴンフルーツが今年は 20 キロも収穫できたそうです。植えているのは『単価が高いけれども甘くて美味しい』種類の物。ドラゴンフルーツは一部を切り取り挿し木で増えていくため、**子どもたちが自分たちの家に持ち帰って家に植え始めているそうです。もしかして将来「ドラゴンフルーツ村」になるかもしれませんね！！**



学校に広がるドラゴンフルーツ畑の真ん中で
(学校の先生たちと理事長)

トロピアンプレイ中学校

現在の生徒数は 200 名。一教室 50 名で教室はぎゅうぎゅうですが、進学する高校ができたという事で、皆とても嬉しそうでした。

この地区には去年から電気が入っています。高等教育を行う中で電気の存在はとても心強いことでしょう。月々 20 ドルの電気代が心配ですが…。

キロタチュム小学校

国道沿いにあるこの学校にもとうとう電気が来ました！教室に置いた 1 台 8.5 ドルする 12 台の扇風機は、6 台は父兄からお金を集めて、残りの 6 台は先生たちが一台ずつ買ったそうです。国からの予算が以前と変わらず少ない為、この先電気代は払えるのでしょうか。

水事情が非常に悪いこの地域です。学校には色々な団体から「水の支援」が入っています。今年新たに「ワールドビジョン」から巨大な水タンクが設置されていました。実は既に同様の水タンク 2 つと巨大な貯水池があるのですが、全て壊れるなどして機能していません。作っては壊れてまた作る…他団体の事ながら、この無駄は何とかならないのでしょうか



ワットルン小学校

去年 8 月に寄贈した学校です。今年の 1 月訪問時に指摘した、旧校舎取り壊し後に放置されていた『危険な鉄の杭』はきちんと処理されておりましたが、校舎の不具合をすでに数か所発見。施工会社 K H J の社長さんに改善をお願い致しました。

カンボジアでは教室の掃除は朝行います。その為、放課後や朝には教室内にゴミが沢山落ちています。そこで、日本では放課後に掃除をして、朝子どもたちが教室に入った時に気持ちがいい状態にしていることを伝え、ぜひ試してみてくださいに伝えました

支援先にボランティア日本人滞在！（9月～12月）

現在日本から、ボランティアの乃一真弓さんが滞在中です。ASAP の支援校で「Mother to Mother 活動」「音楽指導」「日本語指導」にあたって下さいます。活動の様子が ASAP のフェイスブックでご覧になれますのでぜひ覗いてください！ 「いいね！」「シェア」頂けたら乃一さんの励みにもなります！

※Facebook で「アジアの子どもたちの就学を支援する会」で検索お願いします。

Mother to Mother 活動報告

Mother to Mother 活動は山あり谷ありではありますが、少しずつ前進しています！

カンボジアのお母さんがこの仕事に就く条件は、「子どもの就学費用を稼ぐ」です。皆約束通り小学、中学、高校に子どもを通わせています。活動当初、小学校を中退する子どもが多かったことを思うと、これはとても嬉しい成果です。

老眼鏡をプレゼント

手元が見えにくいというお祖母さんたちに老眼鏡をプレゼント。初めてのメガネに戸惑いながらも「見える見える」と大喜び！



孫のために仕事をしているお祖母さん（右）

啓明学園高校生とご対面

今年も啓明学園の高校生が村を訪れて、学校で販売している物を縫ってくださっているお母さんたちとご対面。お互いに「有難う！！」



縫ってもらった布小物は高校の文化祭で販売します

今年も入園・入学準備の時期が近付いてきました！！

Mother to Mother 活動はこの一年間、40以上の幼稚園・保育園・小中高校にて販売ご協力を頂きました。そして、日本国内での洗濯・アイロン・紐通し等の作業を沢山のボランティアの方々が、縁の下の力持ちの存在で支えて下さいました。お陰様で今年度の販売額は昨年より増え、300万円近くになりました。

様々な形で、活動を支えて下さっている皆様に心よりお礼を申し上げます。

今年度もよろしく願い致します！



ボランティア布裁断作業の様子。
ASAPの事務所初公開！

お母さんたち町へ行く！

～シェムリアップ市内で製品販売に挑戦！～

今年の3月、Mother to Mother 活動の安定に向けて、ゆうちょ財団実施の「NGO 海外援助活動助成」が決定したことで、カンボジア国内の小中学生向けの通学カバン作りと、シェムリアップのホテルやお土産屋さんで手作りの小物を販売する事に挑戦します。

すでに販売先も5か所決まりました。そこでバスをチャーターしてお母さんたちとご挨拶回り。五つ星ホテル等に並んだ自分たちの製品を見て、これから頑張ってくれることを願います！



作ったのは象さんの写真立て



品物を置いてくれるお土産屋さんの前で記念写真。
みんないつもよりちょっとお洒落して綺麗！
街で人生初めてのエスカレーターにも乗りました



ライバル？の綺麗な製品をじっくり観察しました



生まれて初めてのバスにテンションも上がります！

土台を支えているASAPの支援

「子どもたちに安全な水を」と、大型浄水器の設置支援をしている団体があります。どの学校にも、というわけではなく、ある条件をクリアした学校だけです。その条件とは、「設置分担金 100 ドルと設置後に水を汲み上げる為のガソリン代金を用意でき、後の管理がちゃんとできると判断したところ」だそうです。ASAPが継続的にサポートをしているという事で、タットム、トロクに引き続き、今度はコールタメイにも設置が決まったと報告を受けました。巨大な浄水タンクの見えない土台を支えているASAPの存在です。



巨大な浄水器（左）。「いずみの会寄贈のスーパー井戸」（右）の地下部分から水を左のタンクに組み上げます。
「スーパー井戸」の水はトイレなどで活躍中。

ホンターン小学校を視察

カンボジア訪問時には、色々な施設の視察にも回っています。今回は困っている学校があるという事で、近郊の小学校を視察しました。

2008年にシャンティという団体から寄贈を受けたというその学校は、3教室の校舎で145人が勉強をしているそうです（一部屋は職員室）。タットム小学校とほぼ同時期に建った学校ですが、かなりひどい状態になっていました。（この学校は本誌P3~4の学校です）

ASAPの支援地区に立つこの小学校への支援計画を進めています。



145人の児童が2クラスの教室で勉強しています

教育庁訪問 …いつか教員養成校で授業を…

小中学校では音楽・体育美術は全く行われていないカンボジアの教育における今後の課題は先生の質の向上でしょう。「日本の教育現場を退職した先生が、カンボジアの教員養成学校で、将来の先生たちに教えることができたら、より多くの学校に広がるのに…！」という思いがあり、その様な事が可能かどうかの調査に教育庁を訪問しました。「非常に効果の高い支援だと思ふ。ぜひお願いしたい」というお返事を頂くことができました。今の ASAP ではすぐに実現は不可能ですが、いつか実施できたら、アンテナを張っていこうと思います。

ちなみに、教員養成校ではやっと体育の勉強が始まったそうです。しかし聞いてびっくり！

「授業は教科書のみ。実践はなし」

カンボジアの子どもたちが、運動や音楽を普通に行なうことができるようになるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。



シエムリアップ州教育局長ソーイ・テッサウォン氏と

**カンボジアで体育・音楽を教えたい
というチャレンジャー募集中！！**

支援村の様子

最後に、支援村の生活の様子をお伝えします。このような生活水準の家庭がまだ沢山あります。



ここで家族が生活しています



ご飯にソースをかけたただけのご飯

平成29年度 通常総会のご報告

去る8月19日に多摩川幼稚園にて平成29年度の通常総会が開催され、平成28年度事業報告、収支決算、平成29年度事業計画、収支予算が承認されましたので概要をご報告させていただきます

1. 28年度事業の成果 (平成28年7月1日～29年6月30日の報告になりますので29年7月以降の内容は含まれていません。)

(1) 教育機関運営支援

- ・教科書、教具等の自主管理を目的した生徒一人に対し年間2ドルの「学校運営費用」をタットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュムの各小学校において継続した。
- ・この費用で、タットム小学校及びトロク小学校では、鉄門を設置し、多摩川コールタメイ小学校では早朝給食を作る屋外台所施設費、ワールドビジョンによる大型浄水器設置負担金(100\$)に充てられた。キロタチュム小学校では柵・堀池の埋め立て費用に充てられた。
- ・2016年8月ワットルン小学校(5教室)が完成し落成式を挙行了した。
- ・2016年12月(株)ラッシュジャパンからの助成金(200万円)決定を受け2017年1月トロピアンプレイ高等学校の新設工事に着工し、2017年8月に完成した。(2017年開校)
- ・タットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュム小学校計25名の教員に、100～200ドルの教育支援金を支給した。
- ・サレイ先生による日本語教室を継続した(タットム及びトロク小学校生徒及び教師対象)。
- ・「Small Art School」の笠原先生による絵画指導を継続した(年6回タットム及びトロク小学校)。

(2) 就学困難家庭への支援事業

- ・タットム、トロク両小学校の新入生へ制服及び文具を支給した。
- ・タットム、トロク両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈した。
- ・医療法人山育会昭和の森テニスクラブ・理事細谷宅、に設置して頂いている『寄付金付飲料自動販売機計4台からの寄付(165,038円)によって全支援校の新一年生に布製の通学リュックを支給することができた。

<Mother to Mother事業>

- ・カンボジア国内
タットム小の母19名、多摩川コールタメイ小の母4名が活動に参加している。(子の数約60名)。
作業所の管理・清掃・ミシン作業を担う母親2名の雇用(月30\$)を継続した(6月末現在、1名は家庭の事情で休み)。
- ・日本国内
日本国内での販売協力幼稚園・保育園・学校は40か所と昨年から大きな増減はないが、販売数が徐々に増え販売額を前年度257万円から296万円に増やすことができた。
この販売額の中で、カンボジアへのお母さん及び管理者への支払い、日本国内のスタッフ1名雇用費用、布などの材料購入費、送料等を担う事が出来ている。
Mother to Mother活動安定を目的とした「カンボジア国内での活動強化事業」へ『ゆうちょ財団』からの助成(80万円)が決定した。(助成金給付は29年度)

3) 広報・啓発・調査事業

- ・2016年8月ワットルン小学校落成式で村人に教育の大切さを伝えた。
- ・Mother to Mother活動担当の母親たちには、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説いた。
- ・「カンボジア通信」vol. 18, 19の発行、ホームページの更新、近隣幼稚園、保育園、学校、イベント等を通して事業の支援を求めるPR活動を行った。
- ・今年度がNPO発足10年に当たるため、カンボジア通信vol. 19を「記念号」として10年間の活動の軌跡をまとめ支援者に報告した。
- ・ウェブサイトについてはカンボジア通信vol. 18, 19を掲載するにとどまった。
- ・2016年8月1日～6日（啓明学園生徒15名を含む27名）、2017年1月20日～25日（4名）の支援ツアーを実施した。

(4) 現地事務所運営事業

現地事務所は置かず、現地建築会社「KHJ」・タラさん・Small Art School（現地協力団体）のご協力及び、サレイ先生に作業所管理と日本との連絡役を担ってもらいおこなっている。

現地事務所を置かないことは不便もあるが、事務所費用、現地スタッフ雇用費用、人材確保等の問題を抱えなくて済む点が大きな利点となっている。

2. 平成 28年度 収支決算(概要) (平成 28 年 7 月 1 日から 29 年 6 月 30 日まで)

I 経常収入の部		III その他資金収入の部	
1 会費収入	888,000		
2 寄付金収入	3,975,456		
3 助成金 ※(1)	2,000,000		
4 Mother to Mother事業収入	2,962,186		
5 その他の収入(利息、為替差)	4,626		
経常収入計	9,830,268	その他資金収入計	0
II 経常支出の部		IV その他資金支出の部	
1 事業費			0
(1)教育機関運営支援 ※(2)	7,181,993		
(2)就学困難家庭支援(報酬・材料購入費等)	1,600,901		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	97,632		
(4)現地要員活動費	51,258		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)	924,364		
経常支出計	9,856,148	その他資金支出計	0
経常収支差額	-25,880	その他資金収支差額	0
※(1)ラッシュジャパン チャリティーポット助成金		当期収支差額	-25,880
※(2)ワットルン小学校校舎建築費用20%が含まれます		前年繰り越し収支差額	7,977,003
トロピアンプレイ中学校建築費用80%が含まれます		次期繰り越し収支差額	7,951,123

3. 平成 29 年度 事業計画(事業の実施方針)

I. 事業実施の方針

平成 29 年度はアジアの中でも特に貧困層の多いカンボジア王国のシェムリアップ州バンテアイ・スレイ郡、ソニコム郡を主な活動場所として展開し、同地域の学齢児童・生徒の就学率の向上、教育環境の向上を目的として教育機関の運営支援事業、就学困難家庭への支援活動などを継続する。

(1) 教育機関の運営支援事業

- ・教科書、教具等の自主管理を目的とした生徒一人に対し年間 2 ドルの「学校運営費用」をタットム、トロック、多摩川コールタメイ、キロタチュムの各小学校において継続する。
使用用途として大型浄水器（他団体設置）水汲み上げガソリン費を容認する。
- ・ワットルン小学校、トロピアンプレイ小学校、トロピアンプレイ高校への支援については訪問を継続し状況を見極めながら支援を実施する。
- ・シェムリアップ州ソニコム郡トロピアンプレイ村トロピアンプレイ高等学校の落成式を2017年8月行う。
- ・支援当初30ドルであった国からの教員給料が月々200ドルになった事もあり、タットム、トロック両小学校の教員においては支給を終了する。コールタメイ、キロタチュム小学校においては継続する。
- ・「Small Art School」の笠原先生による絵画指導・サレイ先生による日本語教室を継続する。
- ・9月～12月に日本からのボランティアが滞在し日本語、音楽指導をサポートする
- ・問題を抱える学校の調査を引き続き進める。

(2) 就学困難家庭への支援事業

- ・今年度はタットム、トロック両小学校の新入生へ制服の支給を継続するが、必要性を調査して来年度以降の継続は未定とし、問題を抱える学校への支援に予算を充てる。
- ・タットム、トロック両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈する。
- ・「寄付金付き自動販売機」からASAPに寄せられる寄付金は、Mother to Mother活動で作られる「通学リュック」の買い取り費用に充てる。(年14万円、560枚の予定)リュックは各支援小学校新一年生に配布する。一部中学生への販売を試みる。(布はカンボジア国内で購入)

(Mother to Mother 事業)

- ・**カンボジア内** ゆうちょ財団より「活動の安定事業」への助成(80万円)を活用し、カンボジア国内向けの事業の拡大と安定を目指す。
- ・**日本国内** 昨年度と同程度の販売を目標にし、作業自体をより円滑に進められる体制を整える

(3) 広報・啓発・調査事業

- ・村人及びMother to Mother活動担当の母親たちには、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説く。
- ・「カンボジア通信」vol. 20, 21の発行を発行し、ホームページの更新、近隣幼稚園、保育園、学校、イベントなどで積極的に事業の支援を求めるPR活動を行う。
- ・より情報を発信しやすいホームページ及びブログ、ネットショップの運営等に積極的に取り組む。
- ・2017年8月、2018年2月(詳細な時期、参加人数未定)に支援ツアーを実施する。
- ・私立啓明学園との「Mother to Mother活動協働」「ワークキャンプ実施」を継続する。

(4) 現地事務所運営事業

- ・タラさん、サレイ先生との連絡を密にし、学校及び作業場の運営管理が順調に進むよう体制を整え、Small Art Schoolスタッフのヒアさんにはコールタメイ地区のサポートを引き続き依頼する。

2. 平成 29 年度 収支予算(概要) (平成 29 年 7 月 1 日から 30 年 6 月 30 日まで)

I 経常収入の部		III その他の資金収入の部	
1 会費収入	809,000	短期借入金収入	0
2 寄付金収入	3,500,000		
3 助成金 ※(1)	800,000		
4 売り上げ	3,000,000		
5 その他の収入(利息、為替差)	1,300		
経常収入計	8,110,300	その他資金収入計	0
II 経常支出の部		IV その他資金支出の部	
1 事業費		短期借入金返済支出	0
(1)教育機関運営支援 ※(2)	2,650,000		
(2)就学困難家庭支援	2,050,000		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	140,000		
(4)現地要員活動費	150,000		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)	1,074,000		
経常支出計	6,064,000	その他資金支出計	0
経常収支差額	2,046,300	その他資金収支差額	0
※(1)ゆうちよ財団NGO海外援助活動助成		当期収支差額	2,046,300
※(2)トロピアンプレイ高等学校舎費用20%を含む		前年繰り越し収支差額	7,977,003
		次期繰り越し収支差額	10,023,303

平成 28 年度(平成 28 年 7 月 1 日～29 年 6 月 30 日)ご寄付頂いた皆様(50 音順)。

* その他40近くの保育園、幼稚園に販売ご協力頂いています。

相川 和樹	(学)多摩川学園	笹井 良太	田中 るみ	長谷川 育代	古谷 良司
相原歩美	勝西てる	佐藤 竜之	田野倉 陽子	長谷川 正	細谷 進
秋山 映美	勝西光司	山育会 山口典利	多摩川学園募金箱	長谷川 照代	保谷 朔
昭島ソロチミスト	加藤 雄平	昭和の森テニス	千葉 辰男	長谷川 安年	前田 邦子
昭島ロータリークラブ	川野 萌美	末宗 千代子	千葉 妙子	長谷川 瑠星	松倉 泉美
いずみの会	川邊 悟子	菅野 ミヨ子	中国文化研究会	華房 千代子	松村 博文
磯崎 千枝子	北川 綾子	杉浦 比登美	調布白菊幼稚園	瀧川 明子	松村 和夫
井上 巖尹	90会	杉本 陶子	鶴田 和男	瀧川 夏季	三浦 修子
今井 亘	草場 秀親	住本 典之	土井 智生	瀧川 喜亘	明照幼稚園
岩田 加奈美	工藤 泉	西武信用金庫秋川支店	戸田 一誠	早坂 吉昭	安永 邦子
上田 恵子	工藤 義孝	染谷 昌美	戸谷 良子	半田 たか子	安田 誠
牛久保 奈未	啓明学園	そよかぜハーモニー保育園	鳥居 久子	Bee Lee	谷津 慶次
臼井 陸	小島 徳太郎	高橋 恵子	直井 誠	光の子保育園	柳沢 真木
浦野 悦美	小菅 敏子	高橋 志奈子	中西 ノア里音	土方 崇	山崎 芙蓉
遠藤 理愛	後藤 裕吾	高木 景子	中野 直明	日比野 将熙	(有)Q地村 修二
欧87の会	小林 五月	竹内 希衣子	中村 かおり	平野 異男	(有)多摩川教育センター
大浦 真佐子	小林 大聖	竹内 たえ子	西尾 早織	平野 隆生	吉田 勝重
大島 陸歩 海歩	小林 倭文子	田澤 淳	根本 徳子	福田 志穂	吉田 泰輔
大沼 陽子	小山 善治	田澤 よし子	野本 俊子	藤谷 正一	若槻 康二
岡部 道明	斉藤 君代	田辺 崇	野呂 龍雄	藤本剛	ラッシュジャパン
樋端 敦子	酒井 淑子	田中 友美	萩原 テエ	船津 英夫	渡辺 政雄
尾西 幸子	櫻庭 玲子	田中 弘美	橋本 直紀	船津 妙子	渡辺優子

Mother 手作りクリスマスツリー販売します!

孫の教育費用を稼ぎたいお祖母さんがいます。高齢の
為「ヨーヨーキルト」を専門に作っています。
それを使ってクリスマスツリーを作りました。

「飾るだけでクリスマス！」

と好評を頂いています。

今年のご支援頂いている皆様にもご紹介します。

素敵なおクリスマスリースを飾って

カンボジア支援はいかがでしょう?

★同封の振込用紙でご注文できます

★数に限りがありますのでお早めに!

★詳細はこちらまで (大沼)

090-4968-4198



・ツリー(大) 3980円+送料 380円 約80cm×58cm

・ツリー(小) 980円+送料 140円 約33cm×24cm

・各サイズ、赤系・白系・緑系 があります。お選びください

ASAPの活動は皆様からのご支援で成り立っています 会員や支援者となって活動を支えて頂けませんか?

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い致します。

- * 正会員… 年 20,000円
- * 賛助会員… 毎月 1,000円 (年額 12,000円)
- * その他支援金… 金額を問わず随時受け付けております

■郵便振替口座 00130-2-594647

『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■西武信用金庫 秋川支店 033

普通口座 1292601

口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会
理事長 長谷川 安年 (ハセガワ ヤストシ)』

ASAP カンボジア通信 ASAP会報 Vol.20 2017.10

■発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会
(省略“ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 429 番地

TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)

FAX 042-550-2467

メールアドレス asap@tamagawa-kids.jp

ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/asap/>

■発行人 長谷川 安年